

ア○カ◆EROTICISM◆EVOLVE

美姫体中



ア○カの元へ向かうリ○コ。
その表情はとても楽しそうにしていた。



『さて、準備は整ったわ』

『ア○力は確かこっちに向かったはず……』



『ふふ……どんな身体になってくれるのか楽しみだわ』

「ああ、ア○カ○○にいたのね」

「なに〜?」

「あなたにしかできないことがあるの」

『どう?やってみない?』

「あたしにしかできないら〜と……?」



『満足してくれるはずよ』

『あなたの身体が大人になるの』

『そうよ。きっと気に入ってくれるわ』





「おっけー、やってあげる！」

「へえ……ちよつと楽しそう……」

実験体

ASUKA LANGLEY SORYU

10%

60 15533990974350

実験機械の依頼をされたア○カ。
リ○ヨはその実験を担当することになる。



自信満々のア○カはどのような実験をされるか期待している。



「まだ10%ね……」

「どんな試験するのが楽しみ」



実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

35%

60 15533990974350

体重
59 KG
身長
165 CM

「ふふ、こんなの楽勝すぎる〜」

「えーっと、上だけ裸になるのね」

イン

もみ

ミミ

ミミ



体重
59 KG
身長
165 CM

35%

実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

60 15533990974350

「実験っていつでも余裕ね」
「35%? まだまだイける〜♪」

んー

んー

んー

んー



実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

74%

体重
65 KG

身長
179 CM

「なにこれ……っ、ああっ……!!」

「んっ……!!なんか……っ、すごい胸が揺れてるっ……!!」



体重
65 KG
身長
179 CM

74%

実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

「揺れすぎだ、って……!! これで74%なの!？」



実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

95%

体重
78 KG

身長
194 CM

「なにこれっ……！おっきいおっぱいがぶるぶるって揺れてるうっ……！」

「ああああああ……！
「おっぱいっ、すぐおいっ！」



実験体
ASUKA LANGLEY SORYU

95%

体重
78KG

身長
194CM

「はうっ……!!」

「95%! あああっ、すごいっ……!」

「ここまでおっぱいがでっかくなるなんてっ!」

びん

びん

びん

びん

びん

びん

「ああっ……まんこから汁が出ちゃってる……っ」

「はあ、はあっ……ぐちよぐちよになったまんこからっ……っ」



ANGLEY SORYU

体重

82 KG

身長

210

びく

ぐち

ぐち

びく

びく

びく



ANGLEY SORYU

体重
82 KG
身長
210

「これ、まだ続くの……!?!」

「んっ……あぁっ……」

ズン

ズン

ビク

ビク

んっ

んっ



「あああああ~~~~!!」

「おっぱいから母乳出てるっっ……!!」

ビク

ビク

ふん

ふん

ふん

ふん



「はあ、はあう……！すっく……感じちゃっ……！」

「……！」

「どろどろになる……！」

どろどろ

どろどろ

どろどろ

どろどろ

どろどろ

体重
120 KG
身長

GLEYSORU

「ん……あたしのアナルも
しっかり見て？」

「実験なんだから、
全部の中まで確認しないとダメでしょ」



『しっかり見えてるわ』

『ほら、リコ見えてる?』





「あんっ、こうして指をアナルに入れて……」
「まんこから出る汁もしっかり見てよね」



「ほらほら、
グリグリって突っ込むから♪」
「ああっ………んああああっ！」

ずぶずぶ♡♡

ピク!

ピク

ピク

びく

びく



「我慢汁だらっただら……
女でもこうなるのね」

「あ、あっ……！はあ、はあ……」



「どっちの穴も興奮しちゃってるんだけど」

「んっ、はあ……」



「はあ、はあっ……まんこじっくり見られちゃってるっ……」

「色んな人に見られてるのたまらない……」

「ああっ……いつちやいそう……」

「うん」



「んあああつ………!!出てる………!!」

「はあっ!またおっぱいはいとまんこから汁が溢れ出てるう」

「ふざけ」

「ふ」

「ふ」

「ふ」

「ふ」

「ふ」

「ふ」



「んんんっ……んんんっ……んんん……」

「クリトリスもビンゴンで……」

「んんん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」



「んぐっ……!!」

「すっぐ……!! あたしのクリからっ、チンポ出てるっ」

「チンポ生えてきてるっ……!!」

「んぐっ」

「あああああ……!!」

「んぐっ」

「んぐっ」

「んぐっ」

「んぐっ」

「んぐっ」

「んぐっ」

「んぐっ」



「うっぐ………!!」

「はあああうっ!!」

「チンポむくむく……っっておっきくなっちゃってるのっ」

「はっ」

「あああうっ、すっぐい………!! 興奮するっ!!」



『いいわ。順調よ、ア○カ』

『精子も出したくなってきてるでしよ』

くしゃん

「はあ……はあ……」

ア○カ

ビク

ビク



ひゅん

ビク

ビク

ひゅん

「精子っ、出したい……!!」

「溜まってるの分かる」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」



「んっ」

「んっ」

「んっ」

「んっ」

「あああっ、おっきくなつてきてるー！」

「チンポっ、大きすぎるってえっ！」

「はっはっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」

「はっは」



「こんなに大きくなっちゃうのお!？」

『いい感じよ』

「んんん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」

「んん」





「チンポから汁がでてきているー!？」

「ああああつ、

チンポもだんだんおつきくなつてきている」

「はっはっは」

「いいわね、上出来よア○カ」





「あああああ、なにこれっ」

「はっはっは」

「キ」

「キ」

「はっは」

「キ」

「チンポおつきすぎだろー」

「玉もっ………おつきすぎなんだけどっ」



「何か出ちゃうんだけどお〜〜〜!」

「んんあああああつ、はあつ、これ出るっ、出るっ」



「あああああああ！」

「チンポぶるぶる揺れてる！」





「精子がたっぷり泳いでるのぉ〜!!!」

「んおおおおお!!!」

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



『ア○カまだイけるわね?』

ドゥッ

「あう……もちろん……」

「おっぱいもチンポもおっきくなって最高の気分♪」



「あたしの胸もどろどろ母乳が溢れてて最高」

「ほらっ、もっと見てよ……!!」

ドゥッ

もみ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

もみ



「リロー！」

あたしすげーでしょー！」

ドゥー

もみ

ドゥー

ドゥー

ドゥー

「チンポもおっぱいも
こんなにおっきくなってるんだから」

もみ

『ええ。いい感じだわ』

「さすががとしか言いようがないくらいよ」



「じゃあ、チンポもシコシコする準備しようかなあ」

「それに最初は驚いたけど、
この実験めちやくちや興奮する」

ドゥ

ドゥ

ドゥ

ドゥ

『あら、いい傾向』

『自分でしたいと思うのは脳がそうになってきてるのよ』

『ふふっ、やっぱりあたしが最適だったのね』





「チンポぐりぐりするのも癖になりそう」

「おっきい玉にたっぷりの
精子が入ってるんでしょ」

ドク

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

「はあああゝ気持ちいいっ……！」

「いいわね、もっと動かして」

「自分の気持ちいい部分を刺激するのよ」





「でっかいチンポ、おっぱいに挟んだらもっと気持ちいい♡」

「ああっ、シコシコ出来て最高」

「んんっ、はあ、はあっ……!!」

「あー、もっと刺激しなきゃ」







「おっぱいも弄って母乳ださないとね♡」

「はあ、はあっ……
ぐちゅぐちゅ触るたびに気持ちいいっ」

「んんっ！はあ、はあ……！！」



「ああああああああ！」

「いっ！おっぱい上下に擦るのいいー！」

「チンポ刺激されちゃってるー！」



『そのまま射精しちゃいなさい』

「むぐぐ、んぐぐ」

「チンポペろペろして射精しちゃうんだから!」

「んむう……はあ、はあ……おっぱいも擦らなきゃ」





「んひひひひひー!」

「あう……!」

母乳もっ、

チンポからもびゅくびゅく出てるっ!」

「ドクドクって精子が溢れ出ちゃってるの……!」

『いい実験だったわ。』

『これならOイにもできそうね』





『さあ、○イ。実験成功した結果を見せるわ』

『ア○カが協力してくれたのよ』

『これを○イにもやってもらうの』





「……」

『ふふ、緊張してるのかしら?』

『でも安心して。』

『最初はア○カも緊張してたけど……』

『徐々に気持ちよくなっていってたから』

『さあ!出てきて!』



「ふふ♪見て、あたしの身体」

「エコヒイキには真似できないでしょうね」

「二人に協力してほしいのよ」

「それにこの身体になるまでにたくさん乗り越えてくれたア○カだから……」



『ロイドもびっくりしてるの』

『ええ……わかった』



『オイもこの身体になれるといいわね』

『そうねえ……
さっそく今から実験しましょうか』













